

山添村ワクチン接種支援完遂記念特大号！

ふるさと通信

第3号

発行元
NPO法人
われらはふるさと
医療応援団

ふるさと通信の編集を担当している応援団員のIです。

お彼岸も過ぎ、すっかり秋になりましたね。

稲刈りも終わり、変わって畔には彼岸花が咲き誇っています。

どこからか金木犀の香りも漂い、深まる秋を感じさせてくれます。

さて、NPO法人「われらはふるさと医療応援団」(理事長 平出 敦) による、奈良県山辺郡山添村での新型コロナワクチンの接種支援が終了しました。

NPOと自治体の協働によるこの新しい取組みは、支援と受援のあり方について、期待以上の成果を上げることができ、全国に発信しているものとなりました。

この山添村モデルが、今後の支援、受援のあり方への礎となればいいですね

この活動に対しまして御支援をいただいたみなさまには、紙面上からではありませんが、あらためて感謝申し上げます。



山添村に向かう途中で

山添村ワクチン接種支援が終了

本年4月に奈良県山辺郡山添村で始まった、新型コロナワクチン接種支援が9月19日(日)を以て終了しました。

最終日となったこの日、野村栄作村長も来場され、ワクチン接種支援の様子を見守っていただきました。そして終了後にはセレモニ-を開いていただき、感謝状を村長から頂きました。



野村村長を中心に



今回のような全国規模でのワクチン接種は、支援する側、受援する側ともに予測ができないことも多く、課題が見つかるたびに解決していくことで、ノウハウが蓄積されていきました。今回は、山添村でのこういったエピソードを紹介しながら半年間の活動を振り返ってみます。

接種支援初日

4月26日(月) ワクチン接種支援が開始されました。

開始までには、受付や会場の同線確認などをシミュレーションし、スムーズな接種が行えるよう準備をしました。その中で迎えた接種初日、準備の甲斐あって連携のとれたチームがそこにはありました。



事前準備 経路確認中

活動を継続するために

ワクチン接種支援が順調に進む中、新たな問題が発生しました。

山添村は山間過疎地域に位置しており、どうしても旅費がかかります。4月、5月は計25日の支援を行いました。2019年に生まれた私たちのNPOはそれを補うだけの資金力がまだまだ足りませんでした。

そこで、「わが国の隅々までワクチン接種を！医療過疎地域へのワクチン接種支援」と題して、クラウドファンディングによる資金調達を行いました。

8月以降の、支援回数を試算して目標額を計上。当初、達成困難かと思われましたが、ホームページやSNSからも広報を行い、52名の支援者により目標額を達成しました。

8月には嬉しいことが

7月下旬から猛暑が続く中で迎えた8月、山添村での活動を聞きつけた2名の方が支援に合流してくれました。

支援の輪が広がることへの実感

高校生の川崎さん

大阪府内の高校生、川崎和奏さんが、山添村を訪れました。

川崎さんは、「へき地で働く医療従事者が抱える問題を考える。」というテーマで研究をされており、「へき地医療のことをもっと学びたい」と、支援活動中の平出理事長を訪ねました。

平出理事長へのインタビューなどを行なったあと、器具の消毒などをされました。

そして、「少ないですが」と、おこずかいから寄付をしていただきました。

思いがけない心温まる支援でした。

東京からの支援

薬剤師の齊藤先生が東京から支援に来られました。

齊藤先生は、常々「何か自分が役にたつことのできるのか？」と考えておられたとのことで、そんなとき「われらはふるさと医療応援団」のホームページを見られ参加されたとのことでした。

実際にワクチン接種支援を行い、次のような感想を話されています。



消毒作業を行う川崎さん



齊藤先生より
ワクチン希釈、充填業務もさることながら、お隣からワクチン接種の問診の先生と村民の方の会話が聞こえました。「あらずいぶりだね。お祖母ちゃんも元気にしてるの？」とか、看護師の方も「あく、久しぶりだね。子ども大きくなった？」なんて会話も聞こえたりして、とても和やかな雰囲気だ印象的でした。今までにないワクチン接種の緊張感を、程よくリラックスさせてあげているあの雰囲気は、東京にいたら感じることはできなかったと思います。

齊藤先生には、2日間にわたり支援をしていただきました。東京からということ、「なかなか手伝うことはできないかも知れませんが」とのことでしたが、「ありがとう」と言われたり、感じてもらえる活動をしていきたいとのこと、われらはふるさと医療応援団の新しいメンバーとして加わっていただきました。

東京からもう一人

そして、忘れてはいけない人、中上先生。中上先生はNPOの設立当初からいろいろと支援をいただいています。

今回のワクチン接種支援にも何度も来ていただき、今ではなくてはならない存在です。

今回のワクチン接種支援は、NPOと自治体の協働、特に自治体の受援体制が成功のキギとなりましたが、その一方で、

このお二人をはじめ、薬剤師の参加が成功への大きなポイントとなりました。
どんな支援であっても、一人ですべてを担うことはできません。それぞれが、自分のことを行い、それをお互いに認め合う。そして自然に「ありがとう」という言葉になる。
何かを成すべきときに、本当に必要なものなのかも知れませんね。
今回の支援は、そんな「ありがとう」が溢れる場になったのではないかと思います。
山添村のワクチン接種支援に関わられたすべての方々、そして山添村のみなさま有り難うございました。



薬剤師三銃士 (左から中上先生、伊藤先生、窪田先生)

お問い合わせ

われらはふるさと医療応援団へのお問い合わせは、ホームページからお願いします。

<https://furusato-med.jp/>